

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人 大泉町社会福祉協議会



## 令和2年度 社会福祉法人大泉町社会福祉協議会事業報告

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症に対する群馬県緊急事態宣言及び大泉町緊急事態宣言を受け、感染拡大防止のため当初予定しておりました基本方針・重点施策にもとづく多くの事業を変更又は中止し対応させていただきました。なお、中止した事業につきましては「中止」と表記してあります。

### 1 地域福祉推進事業

核家族化や高齢化、家族のあり方の変容、近所づきあいの希薄化により、地域での孤立化が危惧される状況となっており、地域でのつながりづくりが一層重要となってきています。そこで、多様な生活支援ニーズに応え、地域の実情に応じた地域支えあいの体制づくり（地域包括ケアシステムの構築）に努めました。

また、高齢者、障害者、ひとり親家庭、低所得世帯等の複雑多様化する福祉課題に対し、生活支援サービスの確保と充実を図り、ボランティア活動、福祉団体等の支援、福祉教育の推進を図り、第二次地域福祉活動計画の基本理念である『みんなで手をつなぎ、広げる笑顔の輪 おおいずみ』の構築に努めました。

#### (1) 法人運営

法人組織の強化、事業運営の透明性の向上等に取り組み、地域に信頼される運営を行うとともに、社会福祉法人間の連携を図り、地域における公益的な取り組みを推進できる体制づくりに努めました。

#### ①理事会、評議員会、監事会、第三者委員会等の開催

開催名	開催日	出席者
第1回理事会	令和2年 6月 8日 (月)	9人
第2回理事会	令和2年10月21日 (水)	12人
第3回理事会	令和2年12月22日 (火)	10人
第4回理事会	令和3年 3月16日 (火)	11人
第1回評議員会	令和2年 6月23日 (火)	18人
第2回評議員会	令和2年12月24日 (木)	書面決議
第3回評議員会	令和3年 3月26日 (金)	22人
監事会	令和2年 5月29日 (金)	2人
苦情解決第三者委員会	令和2年 5月29日 (金)	2人
評議員選任・解任委員会	令和2年 6月 8日 (月) 令和2年12月22日 (火)	5人 5人
正副会長会議	令和3年 3月16日 (火)	3人

#### ②会員募集の実施

一般会費	2,828,200円 (約9,427世帯)
賛助会費	1,825,000円 (約913口)
特別会費	460,000円 (46口)

#### ③役員研修会への参加及び研修会の開催

(研修会へ参加)

研修内容	開催日	参加者
市町村社協新任事務局長研修会	令和2年 8月 3日 (月)	1人

第1回市町村社協会長セミナー	令和2年 8月 4日 (火)	1人
災害ボランティアセンター設置運営研修会	令和2年 8月11日 (火)	1人
災害支援セミナー I	令和2年 8月11日 (火)	1人
市町村社協経理研修会	令和2年 8月18日 (火)	1人
成年後見制度普及啓発セミナー	令和2年10月20日 (火)	4人
重層的支援体制整備事業に係る市町村等説明会	令和2年10月26日 (月)	1人
日常生活自立支援事業専門員等研修会	令和2年10月28日 (水)	1人
日常生活自立支援事業専門員研修会 II	令和2年11月19日 (木)	1人
大学・短期大学・専門学校ボランティア担当職員等連絡会議 ※オンライン開催	令和3年 2月 2日 (火)	1人
感染症対策WEB研修	令和3年 2月 9日 (火)	全職員
邑楽郡社会福祉協議会連絡協議会研修会		※中止

④事業継続計画（BCP）策定に関する調査・研究の実施

正規職員参集データ更新

全職員連絡先等一覧データ更新

⑤災害対応マニュアルの策定

大規模災害が起こった事態を想定し、大規模災害発生時の役職員の初動対応に関する「災害対応マニュアル」及び災害からの復旧・復興の手段の一つとして「災害ボランティアセンター運営マニュアル」を策定しました。

(2) 企画広報事業

社協だよりやホームページ等の活用により様々な世代が情報を得られるような仕組みを構築し、住民に本会の事業内容を一層周知するとともに、地区社協やボランティア団体など多くの関係者の活動を紹介することで地域福祉活動への住民参加の促進を図りました。

また、福祉に関する各種事業（イベント等）の開催などの啓発事業を実施し、町内で様々な福祉活動に携わってこられた方々の功績を称えるため表彰状・感謝状の贈呈を行いました。

広報紙「社協だより」の発行 ※「ぼらんていあ」と合同発行	
発行回数	「社協だより」毎月発行
発行部数	148,970部
ホームページの随時更新	
更新時期	毎月1回の定期更新の他、必要に応じて随時更新
社会福祉大会の開催（保健福祉まつり） ※大泉町と共催事業	
開催予定日	令和2年11月15日（日） ※中止
表彰状受賞者	33人（介護職員等永年勤続表彰者13人含む）
感謝状受賞者	7人・15団体

そ の 他	大会中止のため、表彰状・感謝状はご自宅へお届けし贈呈
戦没者追悼式の開催 ※大泉町と共催事業	
開 催 予 定 日	令和3年 3月20日(土) ※中止
開 催 場 所	保健福祉総合センター

(3) 地域福祉・地区社協事業

「第二次大泉町地域福祉計画・第二次大泉町地域福祉活動計画」に関する説明を関係団体に行い、計画を広く周知し理解してもらうとともに、地域ぐるみの支えあい、助けあいの推進に努めました。また、地区社協の活動を支援するため、活動費の助成を行いました。

①第二次大泉町地域福祉計画・第二次大泉町地域福祉活動計画に関する広報活動

ホームページ掲載(全文ダウンロード可能)

②地区社協長連絡会議の開催

開催日	出席者
令和2年 7月28日(火)	18人
令和2年 9月15日(火)	22人
令和3年 2月17日(水)	書類郵送

③地区社協の組織確立と活動の支援

(地区社協活動費補助)

地 区	30地区
補 助 金 額	2,387,200円 (一般会費分 1,885,200円) (賛助会費分 456,000円) (特別会費分 46,000円)

(モデル地区指定事業)

指 定 地 区	第17区
指 定 金 額	100,000円
指 定 期 間	令和元年度から令和3年度
未 指 定 地 区	13地区/30地区

④高齢者訪問

実 施 日	令和2年 9月 7日(月)
対 象 人 数	111人(90・95歳の高齢者に記念品贈呈)

⑤いきいきふれあいサロン事業 ※中止

開 催 予 定 月	令和2年10月
開 催 内 容	東部ブロックふれあい・いきいきサロン研修会
参 加 者	地区社協長等

⑥ひとり暮らし高齢者おせち料理配布事業 ※中止

実 施 予 定 日	令和2年12月31日(木)
対 象 者	70歳以上のひとり暮らし高齢者

⑦ひとり親家庭のつどい ※中止

実施予定月	令和3年 3月
実施場所	東京ディズニーランド

⑧朗読CDの配付 ※ 中止

内 容	「広報おおいずみ」をCDに録音し配付
利 用 人 数	視力障害者 1人
協 力 団 体	大泉朗読の会ベビーヴォイス

⑨車いすの貸し出し

貸 出 件 数	67件
---------	-----

(4) ボランティアセンター事業

地域のボランティアの状況把握（登録や育成、需要調整等）を行うとともに、広報紙を通じてボランティア活動の啓発に努めました。

①おおいずみ市民活動フェスティバル ※ 中止

開 催 予 定 月	令和3年 3月
そ の 他	令和2年12月に実行委員会を開催し協議のうえ決定

②ボランティアグループ育成援助

ボランティア団体活動補助金の交付	
補 助 団 体	28団体
補 助 金 額	504,000円

③ボランティア講座 ※ 中止

傾聴ボランティア養成講座（邑楽町社協、千代田町社協と共催事業）	
開 催 予 定 月	令和2年 7月
家族DEボランティアスクール	
開 催 予 定 月	令和2年 8月
グラウンドゴルフ体験講座（障害児者体験講座）	
開 催 予 定 月	令和2年10月
レクリエーション講習会	
開 催 予 定 月	令和3年 2月

④ボランティアセンター相談・あっせん事業の推進  
（相談・あっせん）

相 談 件 数	47件
あ っ せ ん 件 数	43件

（ボランティア登録者数）

個 人	6人
団 体	34団体 899人

⑤ボランティア保険加入促進

受 付 件 数	38件
掛 金 補 助 人 数	385人
補 助 額	134,750円

⑥広報紙「ぼらんていあ」の発行 ※「社協だより」と合同発行

発 行 回 数	「ぼらんていあ」毎月発行
発 行 部 数	148,970部

⑦エコキャップ収集運動

回 収 箱 設 置 場 所	8箇所 (役場・保健福祉総合センター・体育館・いずみの杜・老人福祉センター・町公民館/南別館、図書館)
回 収 実 績	2,243.0kg (約1,059,550個) →ポリオワクチン926.5人分

⑧ボランティア協議会活動支援

協議会活動にかかる費用の助成・活動の支援を事務局として行いました。

(5) 福祉教育推進事業

学校との連携を強化するとともに、福祉体験学習等を積極的に実施し、福祉教育の推進を図りました。

①福祉協力校の指定

福 祉 協 力 校 指 定	7校 (町内全小中学校)
指 定 期 間	3年間

②児童・生徒のボランティア活動普及事業の地域指定

事 業 推 進 校 指 定	3校 (町内中学校)
指 定 期 間	平成30年度～令和2年度

③福祉体験学習の実施

対 象	町内小中学校
実 施 回 数	5回
実 施 内 容	手話・点字・車いす・ブラインドウォーク体験
協 力 団 体	手話サークルはるにれの会・大泉点字の会・福祉体験サポートさくら

④小中学生ふくし作文・ポスターコンクール ※ 中止

対 象	町内小中学生
-----	--------

※大泉町、大泉町教育委員会と共催事業

⑤介護体験教室 ※ 中止

開 催 予 定 月	令和2年 8月
開 催 内 容	高齢者・障がい者の生活体験
対 象	町内中学校生徒 (3校)

※大泉保育福祉専門学校と共催

⑥放課後こども教室 ※ 中止

小学校放課後こども教室	
開催予定月	令和2年 9月

(6) 福祉団体育成支援事業

福祉団体活動にかかる費用の助成、団体事務局として活動の継続支援を行いました。

- ①遺族会活動支援
- ②更生保護女性会活動支援
- ③心身障害児者療育父母の会活動支援
- ④保護司会大泉支部活動支援
- ⑤母子会活動支援
- ⑥老人クラブ活動支援

(7) 生活支援事業

関係機関（相談支援機関）との連携を深めるとともに、既存の制度・サービスを活用しながら相談支援に関する取り組みを行い、住民福祉の充実を図りました。また、新たに群馬県社協より委託を受け、日常生活自立支援事業の基幹社協としての役割を担いました。

事業実施内容	実績
福祉相談事業	相談件数 8,528件
小口生活資金貸付事業	貸付件数 24件
生活再建つなぎ資金貸付事業 ※1	貸付件数 27件
通学補給金事業	対象人数 7人 (新入学2人)
日常生活自立支援事業 ※2	相談件数 821件 利用件数 19件 支援員数 11人 専門員数 7人 総支援時間数 186時間
学生服等リユース事業	学生服等寄贈件数 64件 学生服等無償提供件数 50件
福祉用具等リユース事業	福祉用具等登録件数 14件 福祉用具等斡旋件数 10件
フードバンク	利用件数 223件

※1 県社協生活福祉資金（緊急小口）特例貸付申請者のための町社協貸付

※2 県社協委託事業

(8) 共同募金配分事業

共同募金（一般募金、歳末募金）からの配分金を財源として、各福祉事業費や生活困窮世帯等への支援として活用し、住民福祉の充実を図りました。

①高齢福祉事業の実施

ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業 ※ 中止

実施内容	毎週1回、地区社協長・ボランティア等の協力により、牛乳等を持参して訪問激励
対象者	75歳以上のひとり暮らし高齢者

②障害福祉事業の実施



障害者等紙おむつ支給事業

支 給 月	4・7・10・1月
配 布 内 容	平型、パンツタイプ、テープ式
対 象 者	在宅障害者で紙おむつ使用者
延 べ 利 用 人 数	32人

③歳末たすけあい運動の実施

歳末たすけあい運動実施会議の開催

歳末たすけあい運動実施打合せ会議・・・1回

地区社協長会議・・・1回

民生委員会会議・・・1回

歳末施設入所者見舞金

見 舞 先	12ヵ所
対 象 人 員	146人
見 舞 金 額	292,000円
そ の 他	施設慰問は行わず、町内施設は施設対応をしていただき、町外施設は現金書留にて対応しました。

歳末たすけあい見舞金

対 象 人 員	267人
見 舞 金 額	1,017,000円
そ の 他	感染防止対策として、民生委員・地区社協長へアルコール消毒液・マスクを配布しました。

歳末地域福祉サービス事業 ※ 中止

(9) 福祉サービス受託事業

大泉町及び群馬県社協から委託を受け、高齢者、障害者、低所得者等福祉サービス事業を実施し、住民福祉の充実を図りました。

①ひとり暮らし高齢者給食サービス事業

実 施 日	土・日・祝日を除く毎日
実 施 回 数	240回
配 食 数	8,808食
利 用 人 数	57人(男24人、女33人)

※大泉町委託事業

②ねたきり高齢者等紙おむつ支給事業

支 給 月	4・7・10・1月
配 布 内 容	平型、パンツタイプ、テープ式
対 象 者	在宅ねたきり高齢者等で紙おむつ使用者
延 べ 利 用 人 数	635人

※大泉町委託事業

③いざみ福祉号(車イス乗降車2台)の貸出

貸出内容	件数
通院	105件
外出	6件
合計件数	111件

※大泉町委託事業

④手話奉仕員養成講座（入門課程・基礎課程） ※中止

※大泉町委託事業

※邑楽町社協、千代田町社協と共催事業

⑤生活支援体制整備事業の実施

（第2層協議体会議の実施）

西中学校地区	協議体会議等 全3回
南中学校地区	協議体会議等 全2回
北中学校地区	協議体会議等 全2回

（研修会の参加）

研修内容	開催日	参加者
地域住民の活動に必要な移動・外出支援について考えるフォーラム ※中止、後日動画視聴	令和3年 1月 8日（金）	2人
「コロナ禍でも切らない、広がるつながり」CLC オンラインセミナー	令和3年 2月 4日（木）	3人

（各種情報交換会の実施）

内容	開催日	参加者（大泉町）
太田市社協との情報交換会	令和2年11月 4日（水）	6人（3人）
邑楽町協議体（中野小区）との情報交換会	令和2年11月18日（水）	11人（3人）
東部ブロック SC 情報交換会（オンライン開催）	令和3年 2月12日（金）	16人（3人）

（視察研修会の実施）

視察先	実施日	参加者
太田市畑の居場所「ふれあい農園」	令和2年11月25日（水）	3人
北地区協議体「邑助けネットワーク居場所としての畑」見学	令和2年11月27日（金）	9人

（各福祉団体会議において協議体説明会の実施）

実施先	実施日	人数
大泉町ボランティア協議会代表者会議	令和2年11月 5日（木）	37人
大泉町民生委員児童委員協議会定例会	令和2年11月12日（木）	59人
大泉町老人クラブ連絡協議会会長会議	令和2年11月19日（木）	26人

（アンケート調査の実施）

アンケート名	実施月	対象	回答数
新しい生活様式を受けた地域づくりに関するアンケート	6月	1層・2層協議体員 33人	27人

「公民館での地域活動」アンケート	3月	地区公民館長 22人	18人
協議体を一步先に進めるためのアンケート	3月	2層協議体員 24人	24人

※大泉町委託事業

⑥生活福祉資金等貸付事業の相談、支援  
相談件数

相談件数
5,516件

生活福祉資金貸付件数

福祉資金	教育支援資金	合計
2件	2件	4件

生活福祉資金（特例貸付）貸付件数

令和2年3月25日（水）より受付開始。当初の受付終了予定は令和2年7月末まで。その後、令和2年9月末日⇒令和2年12月末日⇒令和3年3月末日⇒令和3年6月末日までと受付期間延長。

- ・貸付対象：新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入が減った・失業された方
- ・貸付金額：緊急小口資金・・・上限20万円以内  
総合支援資金・・・単身世帯 上限15万円×3ヶ月間  
2人以上世帯 上限20万円×3ヶ月間

種 類	申請件数
相 談 件 数	5,485件
緊 急 小 口 資 金	1,511件
総 合 支 援 資 金（初 回）	533件
総 合 支 援 資 金（延 長）	116件
総 合 支 援 資 金（再 貸 付） R3.2.19（金）より受付開始	21件

※令和2年4月1日（水）～令和3年3月31日（水）町社協受付件数

※令和2年5月18日（月）よりポルトガル語・スペイン語・英語対応通訳配置

※対応国籍数24カ国（日本含む）

※群馬県社協委託事業

## 2 介護サービス事業

利用者が、その有する能力に応じて、可能な限り居宅において自立した日常生活を営むことができるよう、生活の質の確保及び向上を図るとともに、安心して日常生活を過ごすことができるよう、居宅介護支援事業を実施しました。

### 居宅介護支援事業

利用者の心身の状況や家庭環境等を踏まえ、介護保険法、その他関係法令に基づき、関係する市町村や事業者、地域の保健・医療・福祉サービス等と綿密な連携を図りながら、介護支援専門員（ケアマネジャー）によるサービスの提供に努めました。また、研修会等へ参加し職員の専門性の向上に努めました。

（要介護者利用数）

月	要介護者内訳					
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4	59人	48人	22人	10人	7人	146人
5	62人	49人	26人	13人	7人	157人
6	62人	51人	26人	15人	8人	162人
7	65人	47人	24人	15人	6人	157人
8	65人	47人	26人	17人	5人	160人
9	64人	49人	32人	16人	7人	168人
10	69人	52人	31人	18人	6人	176人
11	66人	52人	29人	17人	7人	171人
12	66人	54人	30人	14人	8人	172人
1	64人	53人	28人	13人	9人	167人
2	66人	52人	25人	12人	10人	165人
3	69人	50人	27人	12人	10人	168人
合計	777人	604人	326人	172人	90人	1,969人

(要支援者利用数)

月	要支援者内訳		
	予防事業	総合事業	合計
4	21人	18人	39人
5	21人	21人	42人
6	22人	22人	44人
7	22人	23人	45人
8	24人	23人	47人
9	21人	22人	43人
10	21人	21人	42人
11	24人	23人	47人
12	23人	22人	45人
1	21人	20人	41人
2	23人	21人	44人
3	23人	19人	42人
合計	266人	255人	521人

(介護認定調査の実施)

実施内容	延べ利用件数
介護認定調査	59件

(研修会等へ参加)

研修名	日程	参加数
ケアマネジメント連絡会	令和2年 7月15日 (水)	※中止
	令和2年 9月16日 (水)	1人
	令和2年11月18日 (水)	1人
	令和3年 1月20日 (水)	※中止
	令和3年 3月17日 (水)	※中止
ケアマネジメント研修会	令和3年 2月17日 (水)	5人
大泉町自立支援型地域個別ケア会議	令和2年10月16日 (金)	1人
大泉町内事業所合同事例研修会	令和2年 7月15日 (水)	※中止
	令和2年11月18日 (水)	3人

	令和3年 3月17日(水)	※中止
主任介護支援専門員更新研修会	※ 中止	
主任介護支援専門員研修会	※ 中止	

### 3 地域活動支援センターの運営 ※大泉町指定管理施設

大泉町より指定管理者として指定を受け、地域において就労の機会等が得難い在宅の心身障害者に、日常生活又は社会生活を営むことができるよう、創作的活動又は生産活動の機会の提供及び社会との交流の促進を図るとともに、日常生活に必要な便宜の供与等の支援を行いました。

さらに、保護者、地域社会、関係各機関・団体等との密接なる連携を持って開かれた施設を目指し、ノーマライゼーションの理念の実現を図ることを目的とし、障害者福祉の推進を図りました。

開 所 日 数	241日
利 用 人 数	10人(男5人、女5人)
ボランティア受け入れ	作業協力(ビニタイ)2回 習字指導(書き初め)1回 餅つき1回 その他1回 合計 延べ7人
運 営 委 員 会	2回(書面決議1回、通常会議1回)

#### (1) 日常生活に必要な社会性の訓練

利用者一人ひとりの特性や能力を的確に把握し、販売実習を行い、接客を通して社会性を身につけ、他者とのコミュニケーション能力の向上の支援を行いました。

また、商業施設での買い物を実施し、小遣い帳の利用により、金銭を扱う機会を設け、正しい金銭感覚を養うとともに、軽微な買い物は一人でもできるよう支援や外食や弁当購入なども実施し、自立生活にも結びつくよう支援しました。

- ・工場見学・外食等・・・中止
- ・買い物訓練を実施・・・1回

#### (2) 職業適性の発見及び機能訓練

自主生産活動(お菓子作り)、衣類の脱着、洗濯や清掃などを通して、利用者の能力に応じた作業を見極め、個々の利用者にあった作業の発見に努め、必要な支援を行いました。

作業名	作業内容	作業収入額
アルミ缶回収	回収日：年間(隔週) 回収地区：7地区(1,163軒) 4月から8月まで ※9月より休止	56,400円
お菓子製造 販売	お菓子製造(クッキー・マドレーヌ・パウンドケーキ・チーズケーキ) 受注販売 委託販売(パナソニック内3売店) 訪問販売(第一生命支社) イベント販売 ※中止 定期販売 (毎月10日、保健福祉総合センター) (毎月第4火曜日役場ホール) (毎週木曜日支援センター) (毎週金曜日12時から役場西口)	1,065,245円

手芸品制作販売	さをり織りで手芸品製作 福祉まつり等販売 ※中止	0円
---------	-----------------------------	----

(3) 職業生活及び職業的自立の基礎的訓練

利用者1人あたり月額13,000円以上を目標に賃金支給できるよう援助を行いました。さらに、喜びと働くことの意義を理解できるよう支援するとともに、金銭を得る事の大切さを感じられるよう支援に努めました。

利用者作業賃金平均額	8,466円/月
------------	----------

(4) 家内工業的な授産指導

企業から支援をいただき、軽作業を受注し納期に収めることの意義や重要性を通して、責任感や達成感を得られるように支援を行いました。

作業名	作業内容	作業収入額
下請け作業	車部品の袋詰め(年間) 役場からの依頼作業 商業店舗駐車場除草(5~9月)※中止	55,078円

(5) その他独立自活に必要な指導訓練及び目的達成のため必要な事業

利用者の生活拠点「地域」であるとの認識に立ち、地域社会の一員として、自立して生活できるよう支援を行いました。また、お菓子の常設スペースを施設内に確保し、購入・注文の出来る場所を明確にしてほしいというニーズに応え、地域に広くアピールすることに努めました。

広報紙「花ことば」の発行	
発行月	4・7・10・1月
お菓子の施設内常設販売	
販売日時	毎週木曜日 午前10時～午後3時
納涼祭の開催	
開催日	令和2年 7月31日(金)
開催内容	利用者・職員による演芸、ゲームコーナー等
その他	規模を縮小して開催
総合訓練(避難・誘導・通報・消火)の実施	
実施日	令和2年11月13日(金)
消火・避難誘導訓練の実施	
実施日	令和3年 3月18日(木)

4 老人福祉センター事業 ※大泉町指定管理施設

大泉町より指定管理者として指定を受け、高齢者の福祉を充実し、高齢者のための各種相談、健康の増進と教養の向上を図るよう努めました。

また、地域社会、関係各機関・団体等との密接なる連携を持って開かれた施設を目指しノーマライゼーションの理念の実現を図ることを目的とし、高齢者福祉の推進を図りました。

(1) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、町内在住者限定で入浴のみの開館

①開館日数・利用者数状況

単位：人

月	開館 日数 (日)	利用者数	内 訳			
			男		女	
			人 数	割合 (%)	人数	割合 (%)
4	0	0	0	00.0	0	00.0
5	0	0	0	00.0	0	00.0
6	16	509	287	56.4	222	43.6
7	21	851	468	55.0	383	45.0
8	21	844	462	54.7	382	45.3
9	21	855	446	52.2	409	47.8
10	23	908	479	52.8	429	47.2
11	19	810	427	52.7	383	47.3
12	19	808	422	52.2	386	47.8
1	0	0	0	00.0	0	00.0
2	0	0	0	00.0	0	00.0
3	21	781	387	49.6	394	50.4
計	161	6,366	3,378	53.1	2,988	46.9

※令和2年4月1日(水)から6月8日(月)まで臨時休館

※令和2年12月26日(土)から令和3年3月1日(月)まで臨時休館

②機能回復機開放 ※ 中止

内 容	肩関節輪転運動器、歩行補助平行棒、肋木、フィットネスバイク、ウォーキングマシン、椅子式マッサージ機、体重計、スカイウエル、 ※ただし、全自動血圧計のみ使用可能
-----	--

(2) 高齢者の教養向上、健康増進のための事業 ※ 中止

音楽健康教室	
開 催 予 定	4月より毎月第4土曜日
シニア向けスマートフォン教室 (Android)	
開 催 予 定 月	令和2年11月
カラオケ大会	
開 催 予 定 月	令和2年5・8月、令和3年1月
軽スポーツ大会	
開 催 予 定 月	令和2年12月
消費生活センター出前講座	
開 催 予 定 月	令和2年 6月
お楽しみ会	

開催予定月	令和2年6・10月、令和3年2月
-------	------------------

(3) 高齢者の生活相談、健康相談その他各種の相談

高齢者の生活相談、健康相談に応じるため、研修・研究し職員の資質、技術向上に努めました。

相談件数	25件(延べ25人)
------	------------

(4) ふれあい交流事業 ※ 中止

敬老のつどい	
開催予定月	令和2年 9月

(5) センターの施設及び設備の維持管理に関する事業

施設及び設備の適正管理に努めました。

自主防災訓練の実施		
実施日	令和2年 7月 9日(木)	令和2年12月 4日(金)
実施内容	総合訓練	総合訓練
参加人数	6人	6人

(6) その他センターの目的を達成するために必要な事業

感染症対策のため清掃及び消毒作業を徹底し、安心して利用できる環境づくりに努めました。

5 心身障害者等デイサービスセンターの運営 ※大泉町指定管理施設

大泉町より指定管理者として指定を受け、町内に居住する、既存の授産施設、地域活動支援センター等への通所が困難な在宅の重度心身障害者に、日常生活に必要な基本的な生活習慣の訓練、並びに機能訓練及び入浴サービス等の支援を行い、その介護を行う家族等の負担を軽減することを目的とし運営を行いました。

また、利用者個々のQOL(生活の質)を高め、豊かな人間関係の形成と、実りある人生の確立を支援しました。

さらに、保護者、地域社会、関係各機関・団体等との密接なる連携を持って開かれた施設を目指しノーマライゼーションの理念の実現を図ることを目的とし、障害者福祉の推進を図りました。

開所日数	241日
利用人数	6人(男3人、女3人)
運営委員会	2回(書面決議1回、通常会議1回)

(1) 日常訓練・機能回復訓練

利用者の障害特性によって必要な支援目標を立て、集団における支援を行いました。

- ・誕生会・七夕会等各種行事の実施・・・23回
- ・調理実習の実施・・・毎月1回程度

(2) 養護

家庭介護の負担軽減と、衛生的で健康的な生活ができるよう、入浴サービスや散髪同行サービスなどを実施しました。また、実施にあたっては保護者からの意見や要望等を考慮し、利用



者の体調に十分配慮し、入浴希望については、利用回数などの制限は行わず、可能な限り希望に沿うようにサービスを提供しました。

入浴サービス	
実 施 日	月曜日から木曜日
延 べ 利 用 人 数	202人
散髪引率サービス	
実 施 回 数	3回
延 べ 利 用 人 数	4人
延長ケア（朝：8時30分～9時、夕：16時～17時）	
利 用 総 時 間	134時間
延 べ 利 用 人 数	134人

- (3) その他センターの目的を達成するために必要な事業  
地域社会の中の施設として社会的役割を果たすことに努めました。

広報紙「花ことば」の発行	
発 行 月	4・7・10・1月
納涼祭	
開 催 日	令和2年 7月31日（金）
開 催 内 容	利用者・職員による演芸、ゲームコーナー等
そ の 他	規模を縮小して開催
総合訓練（避難・誘導・通報・消火）	
実 施 日	令和2年11月13日（金）
消火・避難誘導訓練	
実 施 日	令和3年 3月18日（木）

## 6 地域包括支援センター事業 ※大泉町委託運営

大泉町より委託を受け、高齢者の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、総合相談事業、権利擁護事業、包括的・継続的ケアマネジメント事業、認知症総合支援事業、介護予防事業等を実施しました。

なお、事業の推進においては、地域住民、行政、ケアマネジャー、サービス事業者、民生委員、地区社協等、フォーマル及びインフォーマルなサービス関係者等によって構成される人的ネットワークを構築するよう努めました。

また、地域包括支援センターの保健師、看護師、主任介護支援専門員、社会福祉士、認知症地域支援推進員がそれぞれの専門性を生かしながら、チームアプローチで支援することにより、迅速かつ効果的な支援を提供しました。

(1) 総合相談事業

地域に住む高齢者に関するさまざまな相談を受理し、適切な機関・制度・サービスにつなぎ、フォローするとともに、必要に応じて地域包括支援センターの業務に継続していくといった、地域包括ケアとしての継続支援の入り口となるよう努め、相談からサービスの調整までワンストップサービスが展開できる拠点としての機能を持つよう努めました。

また、地区社協、民生委員、介護保険事業所など地域における様々な関係者とのネットワーク構築に努め、高齢者の持つ課題が解決へと結びつくよう支援体制を構築に努めました。

相談件数

来 所	電 話	訪 問	その他※	合 計
679件	2,689件	637件	679件	4,684件

※FAX、メール、他の場所

(2) 一般介護予防事業

介護予防や認知症予防のための訪問指導や介護予防教室等を開催しました。また、地域において介護予防、認知症予防に関する住民主体の活動が効果的に展開されるよう人材の養成や、活動支援を実施しました。

①介護予防事業

介護予防「ほっとカフェ」	
内 容	交流の中から精神的なつながりや生きがいづくり
実 施 回 数	3回
延 べ 参 加 人 数	32人
介護「よぼう仙人」スクール	
内 容	ヨーガ療法・体操・リズム・スマホ・英語教室を行い知識や技術を学ぶ場を提供し介護予防への意識の向上や閉じこもり予防
実 施 場 所	公民館・文化むら
実 施 回 数	ヨーガ療法5回・体操6回・リズム4回・スマホ5回・英語5回
延 べ 参 加 人 数	388人
「食べて歯ッピー講座」	
内 容	介護予防のための口腔衛生・栄養講話
実 施 場 所	公民館ホール
実 施 回 数	2回
延 べ 参 加 人 数	36人
「シニアいきいき講座」	
内 容	フレイル予防・寸劇
実 施 場 所	公民館ホール
実 施 回 数	1回
延 べ 参 加 人 数	58人

体力測定会	
内 容	介護予防について意識の向上、介護予防教室や自主グループ活動の啓発と活性化
実 施 場 所	公民館ホール・いずみの杜
実 施 回 数	2回
延 べ 参 加 人 数	81人
介護予防把握事業	
内 容	75歳になる方を基準に訪問により介護予防推進
延 べ 訪 問 人 数	802人
介護予防手帳配布	
内 容	介護予防事業参加者対象に配布
配 布 人 数	123人
介護予防グッズ配布	
内 容	コロナ禍における運動支援として在宅高齢者へ配布
配 布 人 数	646人
介護予防活動自主グループ支援	
内 容	介護予防講話
実 施 回 数	1回
実 施 グ ル ー プ 数	1グループ
延 べ 参 加 人 数	20人
介護予防サポータースキルアップ研修 ※ 中止	
実 施 予 定 月	令和2年 7月
初級・中級介護予防サポーター養成講座 ※ 中級講座中止	
内 容	初級介護予防サポーター養成講座
実 施 場 所	公民館ホール
実 施 回 数	1回
取 得 人 数	初級32人
介護予防活動自主グループ情報交換会（代表者会議）	
内 容	介護予防サポーター間の情報交換と連携
実 施 場 所	公民館ホール
実 施 回 数	1回

参加人数	15人
------	-----

②介護予防プラン作成（令和3年2月末実績）

作成人数（2月実績）・・・295人（直営92人・委託203人）

延べ作成件数（令和2年3月～令和3年2月）

3,666人（直営1,143人・委託2,523人）

③介護予防サポーター登録者数

中級・・・・・・・・211人

上級・・・・・・・・75人

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

ケアマネジャーが包括的・継続的なケアマネジメントを実施することが必要であり、その実践を可能とするため、環境整備とケアマネジャーへのサポートを行いました。

①医療介護連携会議 ※ 中止

②ケアマネジメント研修会

実施日	令和2年12月17日（木）
内容	町内及び近隣のケアマネジャーのスキルアップのための研修
実施場所	公民館ホール
参加人数	39人

③ケアマネジメント連絡会

内容	町内ケアマネジャーの情報交換やケアマネジメントの資質の向上と連携の強化
実施回数	4回
延べ参加人数	54人

④自立支援型地域ケア会議

実施日	令和2年10月16日（金）
実施内容	高齢者の生活の質の向上を図るために専門職等とケアマネジャーが協働して支援方法を検討
参加者	町内ケアマネジャー・介護サービス事業所・専門職（薬剤師・理学療法士・歯科衛生士・管理栄養士・保健師等）
延べ参加人数	20人

(4) 権利擁護事業

認知症などにより判断能力が十分でない人の財産管理や、日常生活での様々な契約を行うための成年後見制度及び日常生活自立支援事業の利用支援を行いました。

また、複雑な課題を抱えた高齢者に対し、課題解決に向けた支援を検討・実施しました。

高齢者虐待を把握した場合には「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」（通称：高齢者虐待防止法）に基づき、町担当課と連携し、対応しました。

さらに、高齢者の消費者被害の防止のため、町の消費生活センターや警察等と連携し、必要な予防対策や支援を行いました。

①消費者被害相談件数・・・・・・・・・・0件

②虐待対応件数・・・・・・・・・・32件（延べ）

③成年後見制度に係る相談件数・・・181件（延べ）

(5) 認知症総合支援事業

認知症地域支援推進員を配置し、認知症の人ができる限り住み慣れた環境で暮らし続けることができるよう、関係機関との連携構築に努めるほか、認知症の人やその介護者への相談支援

業務を行いました。

認知症相談	
相 談 件 数	224件
認知症サポーター養成研修	※ 中止
実 施 予 定 月	令和3年 1月
オレンジカフェひだまり開催（認知症カフェ）	
実 施 回 数	3回
実 施 場 所	保健福祉総合センター
延 べ 参 加 人 数	34人
認知症サポータースキルアップ講座	
実 施 日	令和2年12月 7日（月）
開 催 内 容	認知症サポーターの必要性について
実 施 場 所	公民館ホール
参 加 人 数	23人
認知機能評価支援システム「タッチエム」	
内 容	タッチパネル式パソコンを使用し、頭の元気度として評価し、それにより認知症の予防や早期発見に役立てる
実 施 人 数	32人

(6) 普及啓発事業

①職員による講演

実 施 回 数 . . . . . 1回

延 べ 参 加 人 数 . . . . . 20人

②保健福祉まつり（地域包括支援センターのブース設置） ※ 中止

7 生活困窮者自立相談支援事業 ※群馬県社協委託事業

群馬県社協の委託を受け、生活困窮者自立相談支援事業の邑楽郡5町の支所社協として、関係機関との連携を図り、相談者に対し仕事や住まいの確保などの援助を行い、安定した生活が送れるよう、自立に向けた支援を行いました。

生活困窮者自立支援事業担当者研修会等へ参加

開 催 日	開 催 内 容
令和2年 9月 7日（金）	生活困窮者自立相談支援機関研修会

生活困窮者自立支援事業の相談・支援

相談件数 . . . 2, 093件

	大泉町	邑楽町	千代田町	明和町	板倉町
電 話	1, 002件	213件	40件	62件	14件

面談	1,091件	235件	34件	21件	14件
計	2,093件※1	448件	74件	83件	28件

支援件数・・・1,527件

	大泉町	邑楽町	千代田町	明和町	板倉町
訪問・同行支援	10件	23件	0件	27件	0件
他機関との電話照会・協議	1,139件	2件	1件	41件	1件
その他	378件	38件	0件	31件	0件
計	1,527件※2	63件	1件	99件	1件

(大泉町詳細)

※1

内容		件数	
電 話	通常	32件	
	住居確保給付金	問合せ	693件
		申請	188件
	生活福祉資金貸付(初回)	62件	
	生活福祉資金貸付(延長)	6件	
	生活福祉資金(再貸付)	21件	
面 談	通常	103件	
	住居確保給付金	問合せ	376件
		申請	271件
	生活福祉資金貸付(初回)	241件	
	生活福祉資金貸付(延長)	78件	
	生活福祉資金(再貸付)	22件	
合 計		2,093件	

※2

内容		件数	
訪問・訪問支援	通常	10件	
他機関との電話照会・協議	通常	43件	
	住居確保給付金	問合せ	354件
		申請	401件
	生活福祉資金貸付(初回)	241件	
	生活福祉資金貸付(延長)	78件	
生活福祉資金(再貸付)	22件		
その他	通常	25件	

	住居確保給付金	12件
	生活福祉資金貸付（初回）	241件
	生活福祉資金貸付（延長）	78件
	生活福祉資金（再貸付）	22件
合 計		1,527件

生活困窮者自立相談支援機関情報交換会・・・1回  
 支所社協相談支援員連絡会議・・・・・・・・・・4回  
 プラン作成研修・・・・・・・・・・11件  
 事業に関する啓発活動・・・・・・・・・・1回

## 8 その他福祉事業

### (1) 日本赤十字社事業への協力

日本赤十字社は、災害救護や国際救援などの活動を行うために、会費・赤十字活動資金と寄附金を財源として活動を行いました。

日本赤十字社の会費は、住民の安全と健康及び福祉の保持、あるいは防災、罹災者の救護等の面で活用されました。

#### ① 会員・会費募集への協力

一 般 会 費	4,577,000円
法 人 会 費	311,000円
会 費 総 額	4,888,000円

※日本赤十字社群馬県支部へ送金

※法人会費訪問募集活動については中止とし、通知による協力依頼により振込、持参、職員訪問のいずれかの方法で法人会費収納を行った。

#### ② 献血事業への協力

開 催 日	受付人数	採決人数
令和2年 5月15日（金）	42人	36人
令和2年11月13日（金）	28人	26人

#### ③ 義援金受付（令和3年3月31日現在）

義 援 金 名	金 額（総額）
東日本大震災募金	18,004,461円
熊本地震災害義援金	3,900,131円
令和元年台風第19号災害義援金	1,264,189円
令和2年7月豪雨災害義援金	378,244円
令和元年8月豪雨災害義援金	2,171円

※日本赤十字社を通して被災地へ送金

#### ④ 日本赤十字社群馬県支部大泉分区事務局として協力

### (2) 共同募金運動事業への協力

共同募金運動は、赤い羽根をシンボルマークとして地域住民や学校・企業等で募金をお願いし、高齢者や障害者に対する福祉の充実、子育て支援活動、地域福祉活動の啓発や推進に努めました。

①一般募金への協力

運 営 委 員 会	令和2年 6月15日(月) 書面決議
収 納 会 議	令和2年10月 7日(水) 書面決議
法 人 収 納	※中止 (振込用専用用紙を作成し、前年度協力法人へダイレクトメールで協力依頼)
街 頭 募 金	※中止 (前年度協力商店へ募金箱設置依頼)
募 金 実 績 額	3, 371, 112円

※群馬県共同募金会へ送金

②歳末たすけあい募金への協力

社 協 ・ 民 協 会 議	(民 協) 令和2年 9月11日(金) (地区社協) 令和2年 9月15日(火) ※感染防止の観点より、それぞれに会議を開催
募 金 実 績 額	3, 115, 153円

※群馬県共同募金会へ送金

③群馬県共同募金会大泉町支会事務局として協力

配分委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1回

支会分会事務局長オンライン会議・・・・・・・・ 1回

(3) その他の福祉事業への協力

本会の目的達成のため、協賛や後援事業など積極的に取り組んでいます。

①後援事業

よりきどウォークラリー